

分野③：産業・観光・歴史文化

施策 2：農林漁業の振興

施策目標

効率的で安定した農林漁業経営の強化と次代の担い手の育成により、農林漁業が「栄統的」に営まれています。

現状・課題

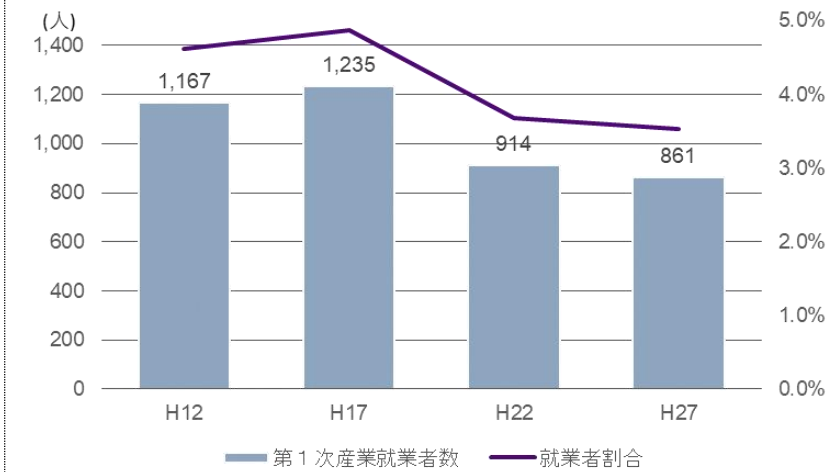
野洲市の農業は水稻を中心に発展してきましたが、全国同様、担い手の高齢化や後継者不足が深刻な課題となっています。農業経営の持続化・安定化を図るため、集落での話し合いを通じた農地の集積・集約や、集落営農組織や家族経営体の法人化などを推進するほか、今後の担い手となる認定農業者の育成、新規就農者への技術支援をはじめとした相談など、様々な取り組みを行う必要があります。

一方、農地の集約により大規模な経営を行う農業者が増加していることから、生産物の付加価値向上やブランド化、六次産業化を推進し、多様な主体の参画により、農業を更に魅力ある誇れる産業として次代へ引き継ぐための取り組みが求められています。

林業では、近年、放置森林が増加しており、所有者による適切な経営管理を促していく必要があります。また、漁業では、琵琶湖全体の漁獲量が低い水準で推移しており、特にアユについては記録的な不漁となるなど、水産資源回復に向けた取り組みが急務となっています。

農地や森林、水環境については、地球温暖化の防止や生物多様性の保全、水源の涵養など、市民生活に関わる多面的な機能を有しています。**市民が趣味やボランティアとして気軽に農林漁業に関わることができる環境の整備や、農林漁業の持つ魅力や価値の市民との共有を進め、地域と協働して良好な環境を保全していくことが必要です。**

■ 第 1 次産業就業者数および就業者割合の推移



(資料) 野洲市統計書

取組方針

- ①経営基盤の強化と担い手の確保
効率的で安定した農林漁業の経営基盤を強化するとともに、担い手や後継者の確保支援に取り組みます。
- ②農産物のブランド力向上
農作物等の付加価値を高め、ブランド力の向上に取り組むほか、農商工の連携や六次産業化の推進に取り組みます。
- ③農地、森林、水環境の良好な保全
農地や森林、水環境の果たす多面的機能についての理解を促進し、地域で連携して環境保全に取り組みます。

主な取組

- 人・農地プランの実質化推進による地域の担い手確保・農地集約、農地中間管理機構の活用による農地集積の利用促進、新規就農者に対する支援窓口の設置、農村観光イベントの開催等による地産地消の推進、**スマート農業への転換支援、等**
- 農業者と商工業者との交流機会の創出等による農商工連携の推進、販路の拡大支援、特産品づくり、等
- 環境保全型農業の推進、農業体験等地域と連携したイベントの開催、獣害対策、土地改良施設の整備、**里山整備の支援、等**

指標

指標	現状値	目標値 (5年後)
①担い手への土地利用集積率	75.7%	80.0%

(指標のそのものや現状値、目標値等の解説)

関連する主な市の計画

- 農業振興計画
- 農業振興地域整備計画
- 森林整備計画
- 食育推進計画